

## 「土曜日の教育支援体制等構築事業」(土曜事業)

### ◆事業趣旨

地域の多様な経験や技術を持つ人材・企業等の協力によって、実社会につながるプログラムや教科等に関連したプログラム等、土曜日に体系的・継続的なプログラムを子供たちに提供し、豊かで有意義な土曜日を実現することを趣旨としています。

### ◆事業状況

東京都教育委員会では「土曜日の教育支援体制等構築事業」(以下「土曜事業」という。)を平成27年度から開始し、初年度は10区市と都立学校16校で実施しました。各自治体や都立学校では、小・中学生や高校生等を対象として、教科の補習、科学実験教室、伝統文化・芸術・スポーツ活動、キャリア教育に関する取組、その他多様なプログラムを企画・実施しています。

このプログラムの一例として今回は日野市の事例を紹介します。

事例紹介

## 日野市「小学生土曜算数教室」「土曜科学実験教室」

「小学生土曜算数教室」は、平成23年度から行っている日野市教育委員会の取組ですが、平成27年度から土曜事業に位置付けて実施しています。本年度(平成28年度)の主な会場である日野市立日野第五小学校(以下「日野第五小学校」という。)の様子を紹介します。

また、同校では、別プログラムとして、日野第五小学校の2年生から6年生までを対象とした「土曜科学実験教室」も実施しています。

### 小学生土曜算数教室(算数大好きプロジェクト)

日野市教育委員会では、子供たちが算数の問題をじっくりと考えて解く喜びを味わい、論理的に考える力を高めて欲しいという願いの下、「算数大好きプロジェクト」を実施しています。講師として帝京大学客員教授の廣田敬一先生を迎え、スタッフを市内外の教員の有志が担当しています。

- 日時 4月～12月の土曜日のうち月1～2回程度(全10回)  
9時30分～11時
- 会場 日野市立日野第五小学校等
- 対象 市内全小学校6年生

「 $2+3$ 、 $5+6+7$ 、 $1+2+3+4$ のように連続するいくつかの数の和を作ります。どんな数を作ることができるでしょう。」

子供たちはワークシートの問題に各々挑戦していました。

このように毎回テーマの異なる問題に子供たちは試行錯誤しながらじっくり考えたり、友達の考えを聞いたりしながら、算数を学ぶ楽しさを体験する有意義なプログラムが展開されていました。



廣田敬一先生による進行



ボランティアスタッフによる見守りやアドバイスの様子

### 土曜科学実験教室

日野第五小学校では、子供たちに科学の面白さを伝えることを目的として、本年度から「土曜科学実験教室」を開始しました。

- 日時 5月～3月の土曜日(全8回)  
10時～12時
- 会場 日野市立日野第五小学校
- 対象 日野第五小学校 2年生～6年生



鏡の反射体験



潜望鏡を三つつなげると高い場所も見える

この教室は、土曜教育支援コーディネーターを介して、近隣の分析機器会社と連携し、従業員等がボランティアとして運営に当たっています。各回ごとにテーマが異なり、実験キットも同社が無償提供しています。

訪問した日は「潜望鏡」をテーマとして、まず鏡を使っているいろいろな反射を体験しながら光の特性を学び、最後に潜望鏡が完成すると子供たちは教室を飛び出し、いろいろな場所を覗(のぞ)いて歓声を上げていました。

工作だけで終わらず、「ふしぎ!」「なぜ?」を感じながら科学の面白さを体感する場になっていました。